

2019 年度 修士学位審査請求論文

中国語における他動性交替の地域差

YANG Yu

7213170014-9

立命館大学大学院言語教育情報研究科

2019

要旨

従来の研究では、さまざまな面から中国語における他動性交替を論じられてきたが、これらの研究では、地域差が検討の対象になっていない。本論文は Haspelmath (1993) を参考に、中国語における他動性交替の地域差の有無について考察した。調査を通じて、中国語に他動性交替の地域差があることが明らかになった。調査対象とした方言では、自他同形型が優勢である方言が多かった。北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)、広東語、閩語(閩南語)、湘語(長沙語)がそのタイプである。北方方言(承德市)は逆使役型が優勢である。(広東)客家語は逆使役型と自他同形型がともに優勢である。また、沿海地域の方言ほど自他同形型が優勢であるという地理的傾向が見られた。

キーワード：

他動性交替 中国語 地域差

目次

1. はじめに.....	1
2. 先行研究.....	1
2.1 他動性交替 (Transitivity Alternation)	1
2.1.1「使役起動交替」(causative/inchoative alternation)とは.....	1
2.1.2 事象アспект.....	2
2.1.3 他動性交替の分類.....	3
2.2 分析対象とする中国語.....	4
2.2.1 中国語におけるヴォイスの概要	4
2.2.2 中国語における使役起動交替に関する代表的な分析.....	5
2.2.3 主語と主題化を区別するテスト.....	7
2.3 他動性交替に関する言語類型的研究.....	8
2.3.1 Haspelmath (1993) の使役起動交替類型.....	8
2.3.2 日本語族における他動性交替の地域差	9
2.3.3 Valpal に見られる中国語 (Mandarin) データ.....	9
3. 調査	10
3.1 調査方法	10
3.2 調査対象と予備調査.....	12
3.2.1 調査協力者のフェースシート.....	12
3.3 調査結果	13
3.3.1 北方方言 (承德市).....	13
3.3.2 北方方言 (山東省済寧市).....	14
3.3.3 呉語 (上海語)	15
3.3.4 湘語 (長沙語)	16
3.3.5 客家語 (広東).....	17
3.3.6 広東語	17
3.3.7 閩語 (閩南語).....	18
3.3.8 各方言の交替のタイプ	19
3.4 地理的傾向.....	20
4. 普通語との相違.....	21

4.1 単音節動詞.....	21
4.2 二音節動詞.....	22
4.2.1 調査対象動詞の分類.....	22
4.2.2「動詞+目的語」型.....	24
4.2.3「動詞+結果補語」型.....	25
4.2.4「副詞+動詞」型.....	27
4.2.5「並列」型.....	28
4.2.6 広東語における自動詞欠落型のタイプ.....	30
5.まとめ.....	33
参照文献.....	33

1. はじめに

語根を共有する動詞の対がそれぞれ自動詞と他動詞として用いられる現象は、「他動性交替」(transitivity alternation)と呼ばれている。その「他動性交替」のうち、起動を表す自動詞と使役を表す他動詞が交替する現象は「使役起動交替」(causative / inchoative alternation)と呼ばれている(崔 2008)。Haspelmath(1993)は、同じ語族に属する言語でも話されている地域が異なると他動性交替の傾向も異なる可能性があることを指摘している。また、佐々木・當山(2015)は、Haspelmath(1993)の 31 対の起動動詞と使役動詞の対を使い、標準語と北海道方言そして琉球語首里方言の自他動詞対の対照を行った。その結果、日本語族の中に他動性交替の地域差があることが明らかになった。

従来の研究は、さまざまな面から中国語における他動性交替を論じてきた。しかし、これらの研究では、地域差についてはまだ扱われていない。中国語では普通語以外に方言が非常に多く存在している。しかも、南北の方言では、語彙や発音ともに大きく異なるだけでなく、文法も多様であると考えられる。そこで、本研究では、中国語における「他動性交替」現象には地域差があるのかを検証することにする。

2. 先行研究

2.1 他動性交替(Transitivity Alternation)

本節では、他動性交替に関する基礎的な概念 *g* についての先行研究を紹介する。他動性交替を検討する際に必ず言及される概念の1つは Vendler(1967)の「アスペクト 4 分類」である。Dowty(1979)以降の語彙分解を使ったアスペクトの分析も重要である。

2.1.1 「使役起動交替」(causative/inchoative alternation) とは

他動性交替のうち、起動を表す自動詞と使役を表す他動詞が交替する現象は「使役起動交替」(causative/inchoative alternation)と呼ばれている(崔 2008)。英語の *break* を例にとって使役起動交替を例示する。

- (1) a. My phone broke.
- b. He broke my phone.

(1a)は *break* の自動詞用法である。「my phone」は *break* の主語であり、*break* は目的語を取って

いない。(1b)において、(1a)では主語であった「my phone」が break の目的語になっている。これは break の他動詞用法である。

他動詞主語を A、目的語を O、自動詞主語を S とした場合、使役起動交替は「S～O」型の交替だが、「子供が笑っている～子供が大人の失敗を笑っている」のように「S～A」型もある。本研究では「S～O」型の使役起動交替に焦点を当て検討する。

2.1.2 事象アスペクト

使役起動交替は、語彙的アスペクトの交替を伴う現象である。

Vendler (1967) は語彙的アスペクトの観点から英語動詞を以下の 4 つに分類した。

(2) (A) State (状態) : know, believe, have

(B) Activity (動作) : run, walk, push a cart

(C) Accomplishment (達成) : paint a picture, make a chair, recover from
illness

(D) Achievement (到達) : recognize, spot, die

(1)に示した自動詞用法の break の語彙的アスペクトは到達であり、他動詞用法の break のそれは達成である。このような関係を捉える上で語彙分解が有効と考えられる。

Dowty (1979) は Vendler の 4 分類を語彙分解で次のように表すことを提案した。

(3) State: pred' (x, (y)),	e.g. know	know' (x, y)
Activity: do' (x, (y)),	e.g. run	run' (x)
Achievement: BECOME pred' (x, (y)),	e.g. recognize	[BECOME know' (x, y)]
Accomplishment: [do' (x, (y))] CAUSE [BECOME pred' (y, (z))],		
	e.g. open [do' (x, (y))] CAUSE [BECOME open' (y, (z))]	

英語の open は形容詞用法と自動詞用法と他動詞用法を持つ。これらの用法は語彙的アスペクトに関してはそれぞれ状態、到達、達成に対応する。それぞれの用法を語彙分解で表すと次のようになる。

- (4) a. The door is open. **open'** (door)
 b. The door opened. BECOME **open'** (door)
 c. He opened the door. [**do'** (he)] CAUSE [BECOME **open'** (door)]

CAUSE は使役関係を表すオペレータである。CAUSE の左側の事象は使役事象と呼ばれる。自動詞用法(4b)と他動詞用法(4c)が使役事象の有無で対立していることがわかる。後述する使役起動交替の類型では、使役事象がある他動詞側が形態的に有標な対を使役(Causative)と呼び、自動詞側が形態的に有標な対を逆使役(Anticausative)と呼ぶのはこのような意味的な対応関係に起因する。

日本語でも、他動性交替の現象もみられる。以下、日本語における他動性交替の例を示す。

- (5) a. 私のケータイが壊れた。
 b. 彼が私のケータイを壊した。

(5a)の「壊れる」は起動を表す自動詞であり、(5b)の「壊す」は「壊れる」と対応している、使役を表す他動詞である。日本語は、英語とは違って、わずかの自他同型の動詞を除き、主に「壊れる/壊す」のような自動詞と他動詞が形式的に区別される形で他動性交替が実現する。

2.1.3 他動性交替の分類

Haspelmath (1993)によると、他動性交替には五つの種類がある。A = anticausative、C = causative、E = equipollent、L = labile、S = suppletive である。以下の表にまとめる(和訳は佐々木・當山(2015)を参照)。

派生の方向の有無	派生型	自他動詞の関係
派生の方向あり	A = anticausative	他動詞→自動詞 逆使役化型
	C = causative	自動詞→他動詞 使役化型
派生の方向なし	E = equipollent	両極型
	L = labile	自他同形型
	S = suppletive	補充型

日本語の例を挙げる。

派生の方向の有無	派生型	他動詞	自動詞
派生の方向あり	A = anticausative 逆使役化型	or-u	or- <u>e</u> -ru
	C = causative 使役化型	ak-e-ru	ak-u
派生の方向なし	E = equipollent 両極型	mawas-u	mawar-u
	L = labile 自他同形型	hirak-u	
	S = suppletive 補充型	koros-u	shin-u

2.2 分析対象とする中国語

上記のように、英語における他動性交替は、break のような、自動詞用法と他動詞用法が同じ形式を持っている動詞によって実現することが多い。日本語は「自他対応」を持っている動詞によって他動性交替を表現する。では、中国語における他動性交替はどのように現れるのか。以下、中国語の使役起動交替に関与する文法特徴を概観する。

2.2.1 中国語におけるヴォイスの概要

中国語は孤立語であり、語形変化がない、文法関係が語順で示され、日本語のような自他動詞を区別する接辞がない。つまり、中国語の動詞は形態から自動詞と他動詞に分類することはできない。中国語のヴォイス(使役態や受動態)がどのように形成されるのかを代表的な研究に基づき紹介する。中国語のヴォイスに関する代表的な研究は木村(2000)である。木村(2000)では、現代中国語におけるヴォイスの構造化とカテゴリ化を試み、「X cv Y V」¹という構文において有標ヴォイス構文が成立すると主張した。さらにこの有標ヴォイス構文を以下の5つのタイプに分類した。

¹ cv : coverb

(I) X 叫 Y A (指示使役文) (A = action)

妈妈 叫 小红 擦 窗户玻璃

お母さん jiao シアオホン 拭く 窓ガラス

(II) X 让 Y A (許容使役文)

我 让 小红 随便 玩儿

私 rang シアオホン 好きなように 遊ぶ

(III) X 使 Y S (誘発使役文) (S = state / change of state)

你 的 信 使 小红 很 开心

あなた の 手紙 shi シアオホン とても うれしい

(IV) X 把 Y A S (執行使役文)

小红 把 窗户玻璃 擦 干净 了

シアオホン ba 窓ガラス 拭く-きれい PERF。

(V) X 被 Y A S (受け身文)

窗户玻璃 被 小红 擦 干净 了

窓ガラス PASS シアオホン 拭く-きれい PERF。

では、中国語における使役起動交替はどのように現れられるだろうか。

2.2.2 中国語における使役起動交替に関する代表的な分析

これまで中国語における他動性交替に関する研究は二つの文脈で行われた。一つは日本語と中国語における使役起動交替の対照研究である。もう一つは中国語の動補動詞(結果複合動詞)の使役起動交替現象の研究である。

望月(2003)は、中国語では、使役起動交替を起こす動詞の大部分が [Action + Resultative State] というスキーマによって構成された動補動詞でなければならないという特徴があると述べている。

望月(2003)の立場に従って、例文(1)と(3)と同じ意味の中国語の例を挙げる:

(6) 我 的 手 机 坏 了

私 の ケータイ 壊れる PFV

「私のケータイが壊れた」

(7) 他 { *坏 / 弄坏 } 了 我 的 手 机

彼 壊す PFV 私 の ケータイ

「彼が私のケータイを壊した」

中国語の場合は、(6)と(7)で示したように、「坏 huai(壊れる/壊す)」「(break)」は単語としては自動詞用法しか持たず、他動詞として機能させることができない。そのため、「弄 nong」が「坏 huai(壊れる/壊す)」の前に付加され、複合動詞として「他動性交替」を起こすように振る舞う。つまり、中国語の「坏 huai」(break)の使役起動交替が使役型(他動詞が有標)である。この場合では、「弄坏」は結果複合動詞であり、「坏 huai(壊れる/壊す)」は動作動詞ではなく、結果状態を表す動詞として機能している。

同様の現象は、「干 gan(乾く/乾かす)」「(dry)」についても見られる。

(8) 洗 的 衣 服 干 了

洗濯物 乾く PFV

「洗濯物が乾いた」

(9) 他 晾干 了 洗的衣服

彼 乾かす PFV 洗濯物

「彼が洗濯物を乾かした」

中国語は、単音節動詞の自他同形型の使役交替は起こりにくい、一方では、複合動詞化すると、自他同形型の自他交替を見せる場合がある。例えば、日本語の漢語動詞「出版する」には、他動詞用法しかないのに対して、中国語の対応する複合動詞「出版 chuban(出版する)」は、自他両用であると、望月(2003)が指摘している。

(10) a. 研究社 出版社 终于 出版 了 那本 论文集

研究社 出版社 やっと 出版する PFV あの 論文集

「研究社出版社やっとあの論文集を出版した」

b. 那本 论文集 终于 出版 了

あの 論文集 やっと 出版される PFV

「あの論文集がやっと{*出版した / 出版された}」

—望月(2003:237)

2.2.3 主語と主題化を区別するテスト

中国語は基本語順が SVO であり、使役起動交替では他動詞文で動詞の後ろに来る名詞句(O)が自動詞文で動詞の前に来る名詞句(S)に対応する。しかし、他動詞文の目的語が動詞の前に来る現象は使役起動交替だけではない。主題化によって目的語は動詞の前の位置に来る。中国語で使役起動交替のあり方を分析する場合、主題化によって名詞句が前置されているのではないことを確認する必要がある。

崔(2008)は、日本語との比較を通じて、主語と主題化を区別するテスト(文頭の名詞句を疑問詞や特定名詞句に置き換えられるかどうか、補文節に現れるかどうか)に基づいて、中国語の単音節動詞の示す交替を考察した。

日本語の「書く」は自他同形の自他交替を起こさないが、それに対応する中国語の「写」は、一見、自他同形動詞のように振る舞う。

(11) a. 张三 写 了 那封 信

zhangsan 書く PFV あの 手紙

「zhangsan があの手紙を書いた」

b. 那封 信 写 了

あの 手紙 書く PFV

「あの手紙が書いてある」

「*あの手紙が書いた」

—Cheng (1989:81)

崔(2008)は、黄(1990)と同様、中国語の「写」は他動詞用法しか持たず、(11b)は目的語が主題された主題文と主張している。

澤田・中川(2004)は、疑問詞は、不定名詞句であるため、主題の位置には現れないと指摘している。崔(2008)は、澤田・中川(2004)に基づいて、(12)と(11a)における文頭の名詞句を疑問詞に置き換える文法テストを行った。

(12) a. 电脑 坏 了 (自動詞文)

コンピュータ 壊れる PFV

「コンピュータが壊れた」

- b. 什么 坏 了 ,
何 壊れる PFV ?

「何が壊れた」

- (13) a. 那封 信 写 了
あの 手紙 書く PFV
「あの手紙が書いてある」
「*あの手紙が書いた」

- b. *什么 写 了 ?
何 書く PFV ?
「*何は書いた？」

(13b)における文頭の名詞句がそれを問う疑問詞に置き換えられないのは、それが主題であるためであると考えられる。

従来の研究は、さまざまな面から中国語における他動性交替を論じた。特に、単音節動詞による交替が自他同形とは見られないという考えが主流になっている。しかし、これらの研究では、地域差についてはまだ扱われていない。周知のように、中国語では普通語以外に、数多くの方言が存在している。普通語と構造が似ている方言があるが、その一方、完全に異なっている方言もある。崔(2008)が提案した主語と主題化を区別するテストは自動詞化と目的語の主題化を分ける上で有益である。このテストは中国語における他動性交替の地域差の調査にも援用できると考えている。

2.3 他動性交替に関する言語類型的研究

他動性交替に関する言語類型的研究は通言語研究と言語内の地域的変異を扱う研究に分けられる。本節では、それぞれ代表的な研究を紹介する。通言語研究の代表的研究として Haspelmath (1993)、言語内の地域的変異を扱う研究として佐々木・當山(2015)を概観する。

2.3.1 Haspelmath (1993) の使役起動交替類型

Haspelmath(1993)は言語類型論的な他動性交替の代表的な研究である。Haspelmath(1993)は、31 対の自他動詞を使って 21 言語を分析し、「自発性尺度」(scale of increasing likelihood of spontaneous)を提案した。21 言語のデータを分析したうえで31対の有対動詞をその「自発性尺度」に位置付けていた(Haspelmath(1993)の Table 3 と Table 4 を参照)。また、Haspelmath(1993:102)

では、他動性交替の地域的な傾向が指摘されている。ヨーロッパには逆使役型 (Anticausative) 優勢、つまり、他動詞から自動詞へ派生する交替が優勢な言語が分布する。その一方、インド・ヨーロッパ語族であるヒンディー語は逆使役型の交替が優勢ではない。同じ語族に属する言語でも話されている地域が異なると他動性交替の傾向も異なる可能性があることを Haspelmath(1993)は指摘している。

2.3.2 日本語族における他動性交替の地域差

Haspelmath(1993)によると、日本語は他動性交替に関して派生の方向がないタイプの交替、とりわけ両極型が優位の体系である。両極型は、語根は共有しているものの自動詞と他動詞のいずれもが他方の派生のベースではなく、両方にプラスアルファの要素がついているタイプである。

佐々木・當山(2015)は、Haspelmath(1993)は標準語のデータのみを分析し、日本語族における多様な方言を扱わっていなかったと指摘した。彼らは、日本語は琉球語とともに日本語族を形成するので、他動性に関して日本語族は地域差があるのかという疑問を提出した。佐々木・當山(2015)は、Haspelmath(1993)の 31 対の起動動詞と使役動詞の対を使い、普通語と北海道方言そして琉球語首里方言の自他動詞対の対照を行った。その結果、日本語族の中に他動性交替の地域差があることが明らかになった。また、北の方で逆使役が優位で南の方で使役型が優位であることが明らかになった。この傾向の要因としては、他動性交替の機能を持つ生産的形態法の存在、動詞語幹が被った通時的変化(r 語幹動詞の母音動詞化)、そして異なる語根の使用があることが指摘されている。

2.3.3 Valpal に見られる中国語 (Mandarin) データ

Haspelmath(1993)では中国語のデータについて扱われていなかった。ValPal は Haspelmath(1993)に基づいて作られたデータベースであり、Haspelmath(1993)より多くの動詞対、約 70 対を使っている。中国語の普通語のデータが載っているが、例えば、「干 gan」(dry)という動詞は他動性交替がないと指摘されている。しかし、実際に中国語普通語では、(8)、(9)に示したように他動性交替がみられる。中国語では普通語以外に方言が非常に多く存在している。しかも、南北の方言では、語彙や発音ともに大きく異なるだけではなく、文法も多様であると考えられる。上記のデータベースに載っている中国語普通語のデータを提供する研究者は中国浙江省出身のため、話している“普通語”は方言に影響される可能性があると考えている。佐々木・當山(2015)は、日本語族の中に他動性交替の地域差があることを明らかにした。そこで、本論文では、佐々木・當山(2015)を

参考にし、中国語における「他動性交替」現象には地域差があるのかを検証しようと考えている。

3. 調査

3.1 調査方法

本調査は Haspelmath (1993) の 31 対有対基礎動詞を参照し、調査票を作った。31 対動詞の中国語訳については、Shen (2014) を参照した。また、Haspelmath (1993) では扱われていない、望月 (2004) が言及した動詞と ValPal に載っている動詞の中から、16 対の有対基礎動詞を抽出した。総計 47 対の基礎動詞について調査を行った。本研究で用いた 47 対の動詞を普通語で対応する日本語訳とともに示す。

1. 醒 xing (起きる/起こす), 2. 断 duan (折る/折れる), 3. 变 bian (変わる/変える), 4. 烧 shao (焼く/焼ける), 5. 开 kai (開く/開ける), 6. 关 guan (閉まる/閉める), 7. 沉 chen (沈む/沈める), 8. 坏 huai (壊れる/壊す), 9. 干 gan (乾く/乾かす), 10. 沸 fei (沸く/沸かす), 11. 满 man (満ちる/満たす), 12. 裂 lie (裂く/裂ける), 13. 停 ting (止まる/止める), 14. 丢 diu (なくなる/なくす)/没 mei (消える/消す), 15. 冻 dong (凍る/凍らせる), 16. 换 huan (換わる/換える), 17. 滚 gun (転がる/転がす), 18. 转 zhuan (回る/回す), 19. 化 hua (融ける/融かす), 20. 摇醒 yaoxing (揺り起こす), 21. 射死 shesi (撃つー死ぬ), 22. 喊哑 hanya (叫ぶー喉がかれる), 23. 哭肿 kuzhong (泣くー腫れる), 24. 跑坏 paohuai (走るー破れる), 25. 吵醒 chaoxing (騒ぐー起きる), 26. 分裂 fenlie (分けるー裂く), 27. 喝干 hegan (飲むー乾く), 28. 进步 jinbu (直る/直す), 29. 扩大 kuoda (拡大する), 30. 震惊 zhenjing (驚く/驚かす), 31. 消灭 xiaomie (消える/消す), 32. 删除 shanchu (削除する), 33. 尖叫 jianjiao (叫ぶ/叫ばせる), 34. 帮助 bangzhu (助かる/助ける), 35. 吓到 xiadao (驚く/驚かす), 36. 中断 zhongduan (中断する), 37. 出版 chuban (出版する), 38. 发展 fazhan (発展する), 39. 摇晃 yaohuang (揺れる/揺らす), 40. 连接 lianjie (繋がる/繋げる), 41. 集合 jihe (集合する), 42. 溶解 rongjie (melt) (溶ける/溶かす), 43. 升起 shengqi (上がる/上げる), 44. 开始 kaishi (始まる/始める), 45. 结束 jieshu (終わる/終える), 46. 解放 jiefang (解放する), 47. 暴露 baolu (曝け出す)

自動詞調査票では、主題化構文と非対格自動詞文を区別するために、崔 (2008) の主語と主題化を区別するテストを参考に、疑問詞が文頭に来る例文を使った。疑問詞は焦点要素なので主題としての解釈がありえない。表 1 で文頭に来る「誰」、「何」は主語であって主題ではないので、非対

格動詞文と確実に見なすことができる。これらの文を直接目的語が主題化で文頭に來た他動詞文と解釈することは不可能である。

表1. 広東語調査票例(部分):

自動詞

単語	日本語訳	疑問詞	方言訳
醒 xing	起きる	什么醒了 誰が起きた	边个醒(sen) 佐
断 duan	折れる	什么断了 何が折れた	乜嘢断(tui) 佐
震惊 zhenjing	驚く	什么震惊了 何が驚いた	么野吓称(ha chin) 佐
消灭 xiaomie	消える	什么消灭了 何が消えた	乜嘢消灭(shiu mi) 佐
删除 shanchu	削除	什么删除了 *何が削除した	乜嘢删(san) 佐

他動詞

単語	日本語訳	例文	方言訳
醒 xing	起こす	他醒了孩子们 彼が子供を起こした	距叫醒(gyu sen) 小朋友
断 duan	折る	他断了树枝 彼が枝を折った	距整断(zen tui) 树枝
震惊 zhenjing	驚かす	他震惊了大家 彼がみんなを驚かした	距吓称(ha chin) 大家
消灭 xiaomie	消す	他消灭了火 *彼が火を消した	距灭(mi) 佐火

删除 shanchu	削除する	他删除了数据 彼がデータを削除した	距删(san) 佐数据
------------	------	----------------------	-------------

3.2 調査対象と予備調査

中国の方言区分は、学者によって異なっている。一般的には、詹(1981)の「七大方言」という区分がよく使われている。詹(1981)によると、長江以北と西の内陸部が北方方言(北京語)²、これ以南がその他の方言地域に分類される。そのほかの方言とは、広東語、呉語(上海語)、贛語(南昌語)、湘語(長沙語)、閩語(閩南語)、客家語である。

本調査の調査協力者は七つの方言が話されている母語話者である。正式調査をはじめる前に、調査協力者がその地域の方言が使えるのかを確認する必要があるため、方言使用に関する予備調査を行った。黄(1996)は七大方言区における 250 地域の方言の文法特徴を整理した。本予備調査は黄(1996)を参照し、それぞれの方言に2つの文法特徴をリストアップし、方言使用に関する質問項目を作った(付録)。

予備調査で、「贛語(南昌語)」の母語話者は見つけれなかった。また、北方方言については、沿海地域と内陸地域(北京市の周り)に各一名調査協力者を選定した。それ以外の地域では、それぞれの方言の母語話者を一名ずつ選んだ。各調査協力者に調査票を配り、自由記述³でデータを収集し、正式調査を行った。

3.2.1 調査協力者のフェースシート

以下に調査協力者のフェースシートを示す。名前の公開の了承を得ていなかったため、すべて匿名化した。

北方方言(承德市)

名前:A 氏、年齢:27、性別:女性

出身地:河北省承德市、母語方言:承德市方言、最終学歴:修士在学

北方方言(山東省済寧市)

名前:B 氏、年齢:26、性別:女性

² 括弧内は各方言区における代表的な地域方言である

³ 漢字で表記できない方言が多いため、方言訳の記述は全部ローマ字で表す。

出身地:山東省済寧市、母語方言:済寧語、最終学歴:修士学位取得

呉語(上海語)

名前:C 氏、年齢:25、性別:女性

出身地:上海、母語方言:上海語、最終学歴:修士在学

湘語(長沙語)

名前:D 氏、年齢:24、性別:女性

出身地:湖南省長沙市、母語方言:長沙語、最終学歴:修士在学

客家語

名前:E 氏、年齢:24、性別:女性

出身地:深セン市、母語方言:客家語、最終学歴:修士在学

広東語

名前:F 氏、年齢:25、性別:男性

出身地:廣東省、母語方言:廣東語、最終学歴:修士在学

閩語(閩南語)

名前:G 氏名、年齢:24、性別:女性

出身地:福建省泉州市、母語方言:閩南話、最終学歴:修士在学

3.3 調査結果

Haspelmath(1993)では、他動性交替のタイプの数値は以下のように計算している:ある項目の対がある交替のタイプに対応する場合、その交替に 1 を加算する。類義語である 2 つの動詞対が違う交替のタイプに対応する場合、各交替のタイプに 0.5 を加算する。たとえば、日本語の場合、ak-u/ak-e-ru, hirak-u/hirak-u のように使役型と自他同形型の 2 種類の対が対応する場合は、C と L に 0.5 を加算する。上記の方法で収集したデータを計算した結果を言語ごとに示す。

3.3.1 北方方言(承德市)

北方方言(承德市)における47対の使役起動交替対のデータを以下に示す。承德市方言は、逆使役型の数値が大きいことがわかる。使役型と自他同形型は数値がほぼ同じで、逆使役型とはそれほど差がないことがわかる。単音節動詞は使役型が優位であるのに対して、二音節動詞には逆使役型と自他同形型が多い。すべての47対の使役起動交替対には、補充型がない。

表2. 北方方言(承德市) (A=18 C=14 E=2 L=13 S=0)

	A	C	E	L	S	total
単音節	2	11	2	4	0	19
二音節	16	3	0	9	0	28
total	18	14	2	13	0	47

1. xing/jiaoxing (C), 2. duan/zheduan (C), 3. bian/gaibian (C), 4. bei shao/shao (A), 5. kai (L), 6. guan (L), 7. chen/jichen (C), 8. huai/nonghuai (C), 9. gan/lianggan (C), 10. fei/shaofei (C), 11. man/daoman (C), 12. lie/silie (C), 13. ting (L), 14. diu/nongdiu (mei/nongmei) (C), 15. dongzhu (L), 16. bei huan/huan (A), 17. gundong/tigun (E), 18. zhuandong/bozhuan (E), 19. hua/ronghua (C), 20. bei yaoxing/yaoxing (A), 21. bei shesi/shesi (A), 22. hanya (L), 23. kuzhong (L), 24. bei paohuai/paohuai (A), 25. bei chaoxing/chaoxing (A), 26. bei fenlie/fenlie (A), 27. bei hegan/hegan (A), 28. jinbu/shi...jinbu (C), 29. bei kuoda/kuoda (A), 30. bei zhenjing/shi...zhenjing (C), 31. xiaomie (L), 32. bei shanchu/shanchu (A), 33. jianjiao/shi...jianjiao (C), 34. bei bangzhu/bangzhu (A), 35. bei xiadao/xiadao (A), 36. bei zhongduan/zhongduan (A), 37. chuban (L), 38. fazhan (L), 39. bei yaohuang/yaohuang (A), 40. bei lianjie/lianjie (A), 41. jihe (L), 42. bei rongjie/rongjie (A), 43. bei shengqi/shengqi (A), 44. kaishi (L), 45. jieshu (L), 46. bei jiefang/jiefang (A), 47. baolu (L).

3.3.2 北方方言（山東省済寧市）

北方方言(山東省済寧市)における47対の使役起動交替対のデータを以下に示す。済寧市方言は、自他同形型の数値が大きく、全体の約半分を占める。単音節動詞では使役型の数が最も多いのに対して、二音節動詞では自他同形型が優勢であることがわかる。また、類義語である14「丟 diu(なくなる)/没 mei(消える)」は、補充型と使役型の2種類の対に対応する。

表 3. 北方方言(山東省濟寧市) (A=5 C=11.5 E=0 L=26 S=4.5)

	A	C	E	L	S	total
単音節	1	8.5	0	5	4.5	19
二音節	4	3	0	21	0	28
total	5	11.5	0	26	4.5	47

1. xing/jiaoxing (C), 2. duan/nongduan (C), 3. bian/huan (S), 4. zhao/shao (S), 5. kai (L), 6. guan (L), 7. chen/jichen (C), 8. huai/nonghuai (C), 9. gan/shaigan (C), 10. fei/shaofei (C), 11. yu/guanman (S), 12. cha/si (S), 13. ting/tingxia (C), 14. diao/nongdiu (mei/nongmei) (S/C), 15. dongshang/dong (A), 16. huan (L), 17. gun (L), 18. zhuan (L), 19. hua/nonghua (C), 20. yaoxing (L), 21. shesi (L), 22. hanya (L), 23. kuzhong (L), 24. paohuai (L), 25. chaoxing (L), 26. fenlie (L), 27. hegan jing/hegan (A), 28. jinbu/shi...jinbu (C), 29. kuoda (L), 30. zhenjing (L), 31. xiaomie (L), 32. shandiao/shan (A), 33. jianjiao/rang...jianjiao (C), 34. bei bangzhu/bangzhu (A), 35. xiazhao (L), 36. zhongduan (L), 37. chuban (L), 38. fazhan (L), 39. huangyou/huang (A), 40. lianjie (L), 41. jihe (L), 42. rong/rongjie (C), 43. shengqi (L), 44. kaishi (L), 45. jieshu (L), 46. jiefang (L), 47. baolu (L).

3.3.3 呉語（上海語）

呉語(上海語)における 47 対の使役起動交替対のデータを以下に示す。上海語は、自他同形型が優勢であることがわかる。そのほか、使役型と逆使役型が少ない、両極型がないことがわかる。単音節動詞では、使役型と自他同形型の数値に近いのに対して、二音節動詞では、自他同形型が 79%を占める。

表 4. 呉語(上海語) (A=3 C=11 E=0 L=29 S=4)

	A	C	E	L	S	total
単音節	0	8	0	7	4	19
二音節	3	3	0	22	0	28
total	3	11	0	29	4	47

1. xin/jiaoxin (C), 2. du/nongdu (C), 3. bi (L), 4. sau/so (S), 5. kei (L), 6. gu (L), 7. seng/jieseng (C), 8. wa/nongwa (C), 9. gu/nonggu (C), 10. kei/so (S), 11. mu/daomu (C), 12. lie/si (S), 13. ding (L), 14. dote/gao dote (me/nongme) (C), 15. dong (L), 16. wu/tiao (S), 17. guen (L), 18. zu (L), 19. hu/nonghu (C), 20. yaoxin (L), 21. dangse (L), 22. jiaoya (L), 23. kozong (L), 24. bowa/ba. . . bowa (C), 25. coxin (L), 26. fenlie (L), 27. hegu (L), 28. jingbu/niang. . . jingbu (C), 29. kuodo (L), 30. zengjin (L), 31. xiaomie/mie (A), 32. sete (L), 33. jijiao/niang. . . jijiao (C), 34. bangzi (L), 35. hadao (L), 36. zongdu (L), 37. cebu (L), 38. fezu (L), 39. yohuang/yo (A), 40. lijie shang/lijie (A), 41. jiee (L), 42. longga (L), 43. sangqi (L), 44. keisi (L), 45. jiesuo (L), 46. jievang (L), 47. bolo (L).

3.3.4 湘語（長沙語）

湘語（長沙語）における 47 対の使役起動交替対のデータを以下に示す。長沙語は、自他同形型の数値が大きいことがわかる。単音節動詞のほうは、使役型と自他同形型の数値は差が小さい、それぞれ 8 対と 6 対である。それに対して、二音節のほうは自他同形型が圧倒的に多い、17 対がある。また、二音節動詞において、逆使役型も 6 対があり、約 21%を占めることがわかる。

表 5. 湘語（長沙語）(A=9 C=10 E=0 L=23 S=4)

	A	C	E	L	S	total
単音節	3	8	1	6	1	19
二音節	6	2	0	17	3	28
total	9	10	1	23	4	47

1. xing/chaoxing (C), 2. tuo/chetuo (C), 3. bian/gai (S), 4. shaoqi lai/shao (A), 5. kai (L), 6. guan (L), 7. chen/gaochen (C), 8. huai/gaohuai (C), 9. gan/lianggan (C), 10. fei/shaofei (C), 11. man/daoman (C), 12. kaice/cekai (E), 13. ting (L), 14. diu/gaodiu (mu/gaomu) (C), 15. dongqi/dong (A), 16. huan (L), 17. gun (L), 18. zhuanqilai/zhuan (A), 19. hua (L), 20. shen yaoxinglai/yaoxing (A), 21. shen shesi/shesi (A), 22. hanya (L), 23. kuzhong (L), 24. paolan (L), 25. shen chaoxing/chaoxing (A), 26. lie/fenlie (C), 27. shen hegan/hegan (A), 28. jinbu/rang. . . jinbu (C), 29. kuoda (L), 30. zenjing (L), 31. xiaomie (L), 32. shen shan/shan (A), 33. jianjiao/han (S), 34. bang (L), 35. shen hei/hei (A), 36. gaoduan/ba. . . zanting (S), 37. chuban (L), 38. fazhan (L), 39. yao (L), 40. lianqi (L), 41. jihe/ba. . . hanyiqi (S), 42. rong (L), 43. shengqilai (L), 44. kaishi (L), 45. jieshu (L), 46. jiefang (L), 47. baolu(L).

3.3.5 客家語（広東）

客家語における 47 対の使役起動交替対のデータを以下に示す。データから見ると、客家語は、逆使役型と自他同形型の数値が大きい。しかも数値が同じであり、使役型、両極型と補充型の数値が小さいことがわかる。14 対の逆使役型動詞対はすべて二音節動詞である。単音節動詞では、自他同形型が 42%を占める。それに対して、二音節動詞では、自他同形型が 21%を占める。

表 6. 客家語 (A=14 C=8 E=5 L=14 S=6)

	A	C	E	L	S	total
単音節	0	6	2	8	3	19
二音節	14	2	3	6	3	28
total	14	8	5	14	6	47

1. qiang/hanqiang (C), 2. tuan/nongtuan (C), 3. bian (L), 4. shaou (L), 5. kui (L), 6. guan (L), 7. chinluoqi/nunchin (E), 8. fai/nongfai (C), 9. zhao/nongzhao (C), 10. bui/zhubui (C), 11. nem/ganem (C), 12. li/cha (S), 13. ting (L), 14. die/mugian (mo/mugian) (S), 15. lengdong/geidong (E), 16. van (L), 17. gun (L), 18. zhuan (L), 19. rong/geidong (S), 20. bun yaoqiang/yaoqiang (A), 21. shasi/shaxiao (E), 22. singshao/hemfai (S), 23. wozung (L), 24. fai/zoufai(C), 25. bun chouqiang/chouqiang (A), 26. bun fun/fun (A), 27. bun yimliao/yimliao (A), 28. jinbu/wo. . . jinbu (C), 29. biantai/nongtai (E), 30. bun hadou/hadou (A), 31. mie (L), 32. bun shan/shan (A), 33. ham/nonggiao (S), 34. bun bong/bong (A), 35. bun hadou/hadou (A), 36. bun qixiao/qixiao (A), 37. bun cuban/cuban (A), 38. fazen (L), 39. tingtong/yao (S), 40. bunjia/lianjia (E), 41. bun jizun/jizun (A), 42. rong (L), 43. shing<teo>q/shingqi (A), 44. kuiqi (L), 45. geicu (L), 46. bun gaifeong/gaifeong (A), 47. bun baolu/baolu (A).

3.3.6 広東語

広東語における 47 対の使役起動交替対のデータを以下に示す。広東語は、自他同形型が優勢であることがわかる。逆使役型の数値が次に大きい、すべて二音節動詞であり、その一方、使役型はすべて単音節動詞である。また、類義語である 14「丟 diu(なくなる)/没 mei(消える)」は、補充型と自他同形型の2種類の対に対応する。

表 7. 広東語 (A=11 C=9 E=0 L=24.5 S=2.5)

	A	C	E	L	S	total
単音節	0	9	0	7.5	2.5	19
二音節	12	0	0	16	0	28
total	12	9	0	23.5	2.5	47

1. sen/gyusen (C), 2. tui/zentui (C), 3. bin/goi (S), 4. shiu (L), 5. hyo (L), 6. guan (L), 7. chin/geichin (C), 8. wai/zenwai (C), 9. gon/zengong (C), 10. shiuhyo/bou (S) 11. mun/doumun (C), 12. ri/shiri (C), 13. ten (L), 14. di/mugin (mou) (S/L), 15. don/zendon (C), 16. un (L), 17. jun (L), 18. jun (L), 19. fa/yonfa (C), 20. jiang... yusen/yusen (A), 21. jiang...sesei/sesei (A), 22. gyusha (L), 23. hanzon (L), 24. jiang...pauwai/pauwai (A), 25. jiang...cousen/cousen (A), 26. fenri (L), 27. jiang ... yingon/yingon (A), 28. jyonbou (L), 29. kuodai (L), 30. hachin (L), 31. shiumi/mi (A), 32. san (L), 33. gyu (L), 34. bun bonzou/bonzou (A), 35. hachin (L), 36. zontui (L), 37. cyoban (L), 38. fajin (L), 39. jiangyu/yu (A), 40. jiang...rinsyo/rinsyo (A), 41. jiang... zahau/zahau(A), 42. jiang ... rongai/rongai (A), 43. jiang...senhei/senhei (A), 44. hyochi (L), 45. gicyo (L), 46. gaifou (L), 47. bouru (L).

3.3.7 閩語 (閩南語)

閩語 (閩南語) における 47 対の使役起動交替対のデータを以下に示す。閩語 (閩南語) では、自他同形型の数値が一番大きい、半分以上を占めることがわかる。使役型の数値が次に大きい。そして、使役型は、単音節動詞の比率が高い。一方、自他同形型の動詞対では二音節動詞の数が圧倒的に多いことがわかる。単音節動詞と二音節動詞の両方で、両極型と逆使役型がない。

表 8. 閩語 (閩南語) (A=0 C=11 E=0 L=32 S=4)

	A	C	E	L	S	total
単音節	0	10	0	5	4	19
二音節	0	1	0	27	0	28
total	0	11	0	32	4	47

1. qi/gioqi (C), 2. deng/adeng (C), 3. bian/guibian (C), 4. xio/yinxio (C), 5. kui (L), 6. guiu (L),

7. diam/pdiam (C), 8. pai/sapai (C), 9. da/longda (C), 10. gun/zigun (C), 11. mua/zengmua (C), 12. bei/tia (S), 13. ting/tingduo (C), 14. pamou (mou) (L), 15. dàng/dāng (S), 16. wa (L), 17. gun (L), 18. zuan/she (S), 19. yiu/hua (S), 20. youqi (L), 21. xiaxi (L), 22. hauda (L), 23. kaojing (L), 24. zaopai (L), 25. caqi (L), 26. bunlie (L), 27. limda (L), 28. jenbo/gang...jenbo (C), 29. koudua (L), 30. giadiu (L), 31. xiaomie (L), 32. sande (L), 33. gio (L), 34. bangzou (L), 35. giadio (L), 36. diongdeng (L), 37. cuoban (L), 38. huadian (L), 39. you (L), 40. lianjia (L), 41. jiehai (L), 42. longgai (L), 43. xingki (L), 44. kaixi (L), 45. geiso (L), 46. gaihong (L), 47. bolo (L).

3.3.8 各方言の交替のタイプ

以下に七つの方言の交替のタイプを表にまとめて示す。

表 9. 7 つの方言使役起動交替

方言	total	A	C	E	L	S	A/C	%non-dir
北方方言(山東省)	47	5	11.5	0	26	4.5	0.43	65%
北方方言(承德市)	47	18	14	2	13	0	1.29	32%
呉語(上海語)	47	3	11	0	29	4	0.27	70%
湘語(長沙語)	47	9	10	1	23	4	0.90	60%
(広東)客家語	47	14	8	5	14	6	1.75	53%
広東語	47	12	9	0	23.5	2.5	1.33	55%
閩語(閩南語)	47	0	11	0	32	4	0	77%

Abbreviations:

A = anticausative

C = causative

E = equipollent

L = labile

S = suppletive

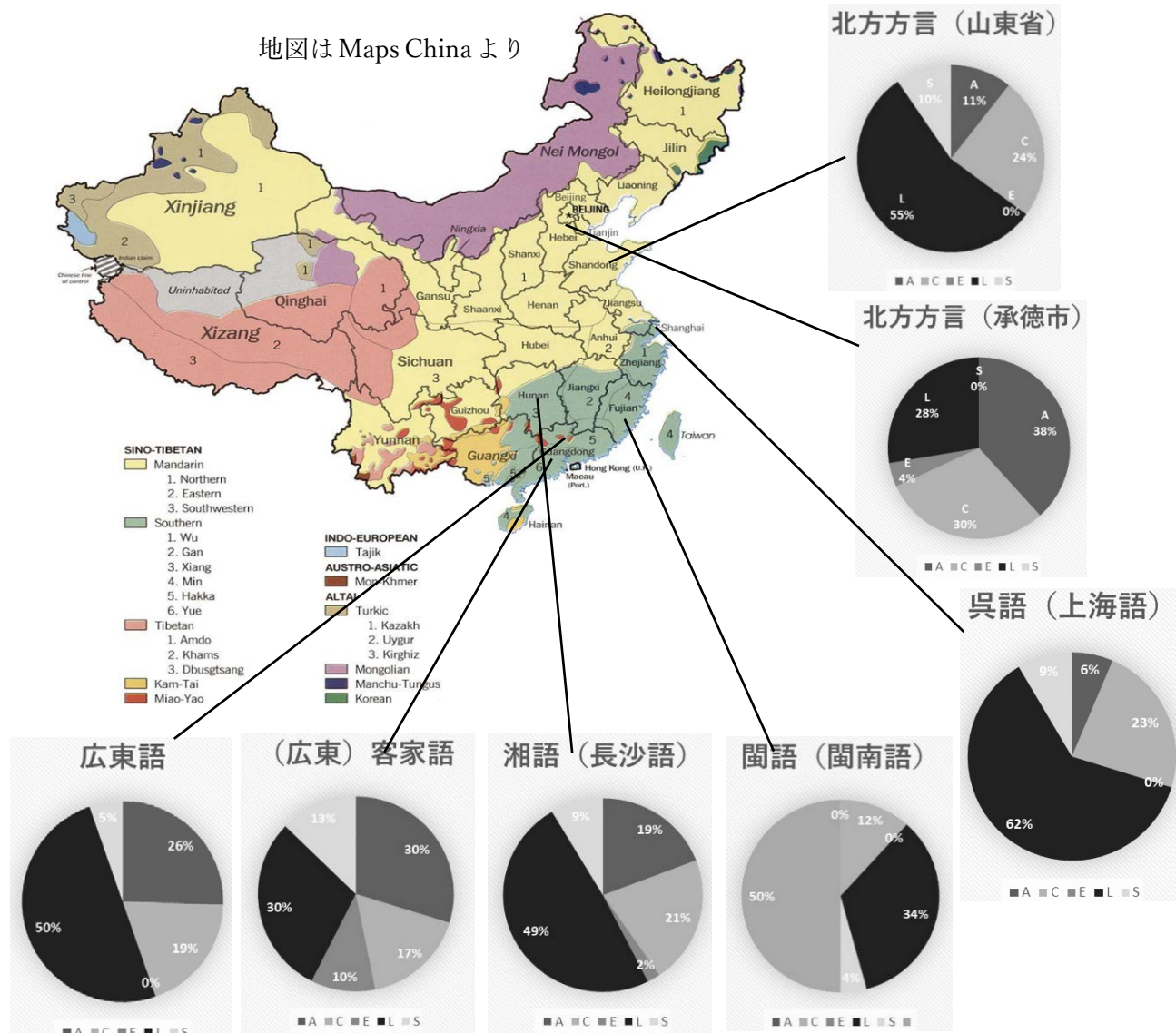
A/C = ratio of anticausative to causative pairs

% non-dir = percentage of non-directed pair

3.4 地理的傾向

調査結果から自他同形型が優勢である方言が多いことがわかる。北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)、広東語、閩語(閩南語)、湘語(長沙語)がそのタイプである。山東省済寧市と承德市は北方方言地区に属している、しかも地理的距離に近いが、沿海地域の済寧市の方言は自他同形型が優勢で、内陸(北京に近い)の承德市の方言は逆使役型が優勢だという違いがある。広東省に属している広東客家語と広東語は、自他同形型が優勢であるという点では同じだが、広東語は圧倒的に自他同形が優勢であるのに対して、広東客家語のほうは逆使役型と自他同形型がともに優勢である。

各方言地域を以下の地図で表示すると、沿海地域の方言ほど自他同形型が優勢であることがわかる。また、内陸の方言については、北方方言で逆使役型が優勢になる傾向がある。



4. 普通語との相違

今回の調査結果が示すように、各方言には他動性交替が普通語と異なっているところがたくさんある。しかも、方言と方言の間でも差がある。

本節は、調査結果と普通語の相違を単音節動詞と二音節動詞に分けて説明する。

4.1 単音節動詞

今回の調査結果が示すように、いずれの方言でも、普通語と同じように、単音節動詞(主に状態を表す動詞)は使役型が優勢である。つまり、これらの動詞は「動作」、「変化」を含まず、他動性が低いため、日本語の「する」に対応する他動性が高い動作動詞を前につけ、結果状態複合動詞を形成して使役化を起こす。

ところで、例外もある。1つの動詞は「裂 lie(裂ける)」である。北方方言(承德市)と広東語において、「裂 lie(裂く/裂ける)」は使役型である。(線を引く部分は他動詞+アルファ)。

北方方言(承德市): lie / silie

広東語: ri / shiri

しかし、北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)、客家語、閩語(閩南語)において、「裂 lie(裂く/裂ける)」はすべて補充型である。また、湘語(長沙語)において、「裂 lie(裂く/裂ける)」は両極型である。

自動詞/他動詞

北方方言(山東省済寧市): cha / si

呉語(上海語): lie / si

客家語: li / cha

閩語(閩南語): bei / tia

湘語(長沙語): kaice / chekai

もう1つの動詞は「停 ting(止まる/止める)」である。北方方言(山東省済寧市)と閩語(閩南語)以外の5つの方言において、「停 ting(止まる/止める)」は自他同形である。それに対して、この2つの方言において、「停 ting(止まる/止める)」は使役型である。

北方方言(山東省済寧市):

(14) a. shenme ting le

何が 止まる PFV

「何が止まった」

b. ta tingxia le che

彼が 止める PFV 車

「彼が車を止めた」

閩語(閩南語):

(15) a. xiami ting lo

何が 止まる PFV

「何が止まった」

b. yi tingduo le qia

彼が 止める PFV 車

「彼が車を止めた」

しかし、上述のように他動性の高い動作動詞が前に来るという形と異なって、例(14)と例(15)は、「停 ting(止まる/止める)」の後ろに形容詞「xia」と状態動詞「duo」をつけ、使役状態変化動詞になる形で自他交替を起こす。

4.2 二音節動詞

2.2.2 に示したように、中国語においては、二音節動詞、特に[Action+Resultative State] というスキーマによって構成された動補動詞のほうが自他同形型の自他交替を見せる(望月 2003)。ところで、普通語において、同じく動補動詞であっても、例(16)が示すように「被 bei」という受身標識が必要な動詞もある。そこで、本調査で扱われている 28 対の二音節動詞を分類することにする。

4.2.1 調査対象動詞の分類

湯(1989)は、中国語の複合動詞を、その内部構造から、以下のように5タイプに分類している。

a. 「動詞+目的語」型 (Predicate-Object Type)

充电 chongdian(充電する)

b. 「動詞+結果補語」型 (Predicate-Complement Type)

喊哑 hanya (叫ぶ-喉がかれる)

c. 「副詞+動詞」型 (Modifier-Head Type)

倾听 qingting (傾聴する)

d. 「主語+述語」型 (Subject-Predicate Type)

头疼 touteng (頭が痛い)

e. 「並列」型 (Coordinative Type)

发展 fazhan (発展する)

湯(1989)の 5 分類を参照し、調査項目の 28 対の二音節動詞の分類を試みることにする。ただし、「動詞+目的語」型と「動詞+結果補語」型の両方に解釈できる、あるいは両方いずれとも解釈できない動詞もある。したがって、これは厳密に分類できるものではない(d. 「主語+述語」型 に属している動詞対はない)。

a. 「動詞+目的語」型 (Predicate-Object Type)

摇醒 yaoxing (揺り起こす)、射死 shesi (撃つ-死ぬ)、扩大 kuoda (拡大する)、消灭 xiaomie (消える/消す)、吵醒 chaoxing (騒ぐ-起きる)、解放 jiefang (解放する)、进步 jinbu (直る/直す)、溶解 rongjie (溶ける/溶かす)

b. 「動詞+結果補語」型 (Predicate-Complement Type)

喊哑 hanya (叫ぶ-喉がかれる)、哭肿 kuzhong (泣く-腫れる)、跑坏 paohuai (走る-破れる)、喝干 hegan (飲む-乾く)、摇晃 yaohuang (揺れる)、吓到 xiadao (驚く/驚かす)、升起 shengqi (上がる/上げる)、出版 chuban (出版する)、暴露 baolu (曝け出す)、震惊 zhenjing (驚く/驚かす)、分裂 fenlie (分ける-裂く)

c. 「副詞+動詞」型 (Modifier-Head Type)

尖叫 jianjiao (叫ぶ/叫ばせる)

e. 「並列」型 (Coordinative Type)

发展 fazhan (発展する)、帮助 bangzhu (助かる/助ける)、中断 zhongduan (中断する)、删除 shanchu (削除する)、连接 lianjie (繋がる/繋げる)、集合 jihe (集まる/集める)、开始 kaishi (始まる/始める)、结束 jieshu (終わる/終える)

4.2.2 「動詞+目的語」型

望月(2003)と申(2009)によると、「揺醒 yaongxing(揺る-起こす)」と「射死 shesi(撃つ-死ぬ)」は「動詞(他動詞)+目的語」型に属している。つまり、V2 が V1 の結果状態を意図しており、他動性が高いため、自他同形型の自他交替ができず、「被 bei」という受身標識が必要となる。

しかし、今回の調査結果が示すように、北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)、閩語(閩南語)において、「揺醒 yaoxing(揺る-起こす)」と「射死 shesi(撃つ-死ぬ)」は形態を変えずに自他交替を起こす。以下に上海語の例を示す。

(16) a. samening yaoxin le

誰 揺る-起こす PFV

「誰が揺り起こされた」

b. yi yaoxin le eizi

彼 揺る-起こす PFV 子ども

「彼が子どもを揺り起こした」

(17) a. samesi dangse le

何 撃つ-死ぬ PFV

「何が撃たれて、死んだ」

b. yi dangse le laoying

彼 撃つ-死ぬ PFV 鷹

「彼が鷹を撃って、鷹が死んだ」

北方方言(承德市)は普通語と同じく、「被 bei」という受身標識をつけ、逆使役化の自他交替を起こす。広東語においても(18)-(19)に示すように、他動詞文(目的語が動詞の後ろ)が無標で対象(目的語)が動詞の前に来る構造が有標であるため、逆使役型と似ている。それ故、3 章では逆使役型としたが、「被 bei」を使わず、文頭に「将 jiang」が来る。中国語において、「将 jiang」は「把 ba」と同じ、処置を表す介詞である。「将 jiang」をつけることによって、本来動詞の後ろに来る目的語が動詞の前に前置される。これは広東語における「揺醒 yaoxing(揺る-起こす)」が他動詞用法しかない証拠だと考えられる

(18) a. jiang biange yusen zuo

JIANG 誰 揺る-起こす PFV

「誰が揺り起こされた」

b. ju yusen xiupenyoun

彼 揺る-起こす 子ども

「彼が子どもを揺り起こした」

(19) a. jiang mieye sesei zuo

JIANG 何 撃つ-死ぬ PFV

「何が撃たれて、死んだ」

b. ju sesei ying

彼 撃つ-死ぬ 鷹

「彼が鷹を撃って、鷹が死んだ」

「将 jiang」を使う場合は、目的語が動詞の前に来るが、主語は主語のままで文の先頭に出現することが可能である。(18a)と(19a)は文頭の主語が省略された構造である。これらの構造は他動詞文の主語(使役事象の項)が降格しない点で「被 bei」を用いる構造と対立する。広東語の動詞対のうち、20. jiang ... yusen/yusen, 21. jiang ... sesei/sesei を含め、24. jiang ... pauwai/pauwai, 25. jiang ... cousen/cousen, 27. jiang ... yingon/yingon, 40. jiang ... rinsyo, 41. jiang ... zahau/zahau, 42. jiang ... rongai/rongai, 43. jiang ... senhei/senhei は厳密には自動詞欠落型と考えられる。この部分について、本章の最後でもう一度論じることにする。

4.2.3 「動詞+結果補語」型

望月(2003)によると、「跑坏 paohuai(走る-破れる)」と「喝干 hegan(飲む-乾く)」のように、V1 が非能格動詞(自動詞用法しかない動詞)である。しかも、状態変化を受ける対象が主語の身体部分でない場合は、他動詞用法しかない。この場合では、「被 bei」の受身標識をつけることで、逆使役型の自他交替を起こす。

(20) a. 他 跑坏 了 那 双 鞋·

Ta paohuai le na shaung xie

彼 走る-破れる PFV あの 類別詞 靴

b.* 那 双 鞋 跑坏 了

Na shuang xie paohuai le

あの 類別詞 靴 走る-破れる PFV

c. 那 双 鞋 被 跑坏 了

Na shuang xie bei paohuai le

あの 類別詞 靴 PASS 走る-破れる PFV

—望月(2004:255)

しかし、調査結果が示すように、北方方言(山東省済寧市)と閩語(閩南語)において、「跑坏 paohuai(走る-破れる)」は自他両用であることがわかる。以下に閩語(閩南語)の例を示す。

(21) a. xiami zaopai lo

何が 走る-破れる PFV

「何が走り破られた」

b. yi zopai we

彼が 走る-破れる 靴

「彼が走りすぎて、靴が破れた」

また、本論文の 2.2.2 の例(10) が示すように、「出版 chuban(出版する)」は中国語において、自他両用であると望月(2003)が述べている。調査結果からみると、七つの方言には、客家語以外の六つの方言はすべて普通語と同じく、自他両用であることがわかる。しかし、客家語において、「出版 chuban(出版する)」は他動詞用法しかない、「被 bei」という受身標識をつけ、逆使役型の自他交替を起こす。

(22) a. magai bun cuban hoi

何が PASS 出版する PFV

「何が出版された」

b. chubanxia cuban hoi libun shu

出版社 出版する PFV この 本

「出版社がこの本を出版した」

4.2.4 「副詞+動詞」型

今回の調査項目には「副詞+動詞」型に属している動詞は「尖叫 *jianjiao* (叫ぶ/叫ばせる)」しかない。

北方方言(山東省済寧市)、北方方言(承德市)と呉語(上海語)において、「尖叫 *jianjiao* (叫ぶ/叫ばせる)」は使役型である。この三つの方言は、すべて「让 *rang*」、「使 *shi*」のような使役動詞をつけることで使役型の自他交替を起こす。この点では普通語と同じである。「让 *rang*」、「使 *shi*」は使役標識として英語の「let」と日本語の「～させる」と同じの機能を持っている。以下に北方方言(承德市)の例を示す。

(23) a. *shei jianjiao le*

誰が 叫ぶ PFV

「誰が叫んだ」

b. *ta shi haizi jianjiao le*

彼が SHI 子ども 叫ぶ PFV

「彼が子どもを叫ばせる」

広東語と閩語(閩南語)において、「尖叫 *jianjiao* (叫ぶ/叫ばせる)」は自他同形型である。両方言とも単音節動詞で表す。

広東語: *gyu*

閩語(閩南語): *gio*

実は、広東語の「*gyu*」と閩語(閩南語)の「*gio*」は普通語の単音節能格動詞「叫 *jiao*」に当たると考えられる⁴。普通語において、「尖叫 *jianjiao* (叫ぶ/叫ばせる)」は使役型だが、「叫 *jiao*」は自他同形型である。

さらに、湘語(長沙語)と客家語において、「尖叫 *jianjiao* (叫ぶ/叫ばせる)」は補充型である。

⁴ 広東語と閩語(閩南語)の調査協力者によると、広東語と閩南語には「尖叫 *jianjiao* (叫ぶ/叫ばせる)」に当たる複合動詞がない。

湘語(長沙語)

(24) a. nage jianjiao da

誰が 叫ぶ PFV

「誰が叫んだ」

b. ta han xiyazi

彼が 叫ぶ 子ども

「彼が子どもを叫ばせる」

客家語

(25) a. lisa ham hoi

誰が 叫ぶ PFV

「誰が叫んだ」

b. gi nonggiao hoi seinin

彼が 叫ぶ PFV 子ども

「彼が子どもを叫ばせる」

4.2.5 「並列」型

望月・申(2011)によると、「发展 fazhan(発展する)」は起動自動詞にも、使役他動詞にも用いられ、自他の形態的相違がない。

今回の調査結果から見ると、いずれの方言においても、「发展 fazhan(発展する)」だけではなく、「开始 kaishi(始まる/始める)」と「结束 jieshu(終わる/終える)」も自他同形型である。

上述以外の動詞の自他交替タイプは方言ごとに差が見られるが、基本的に逆使役型と自他同形型の相違である。例えば、呉語(上海語)、湘語(長沙語)と閩語(閩南語)において「帮助 bangzhu(助かる/助ける)」は自他同形型である。それに対して、それ以外の方言と普通語において、「帮助 bangzhu(助かる/助ける)」は逆使役型で、「被 bei」をつけることで自他交替を起こす。以下に呉語(上海語)と北方方言(承德市)の例を示す。

呉語(上海語): 自他同形型

(26) a. same bangzi le

何が 助かる PFV

「何が助かった」

b. yi bangzi le bie ning

彼が 助ける PFV ほかの人

「彼がほかの人を助けた」

北方方言(承德市):逆使役型

(27) a. shenme bei bangzhu le

何が PASS 助かる PFV

「何が助かった」

b. ta bangzhu le bieren

彼が 助ける PFV ほかの人

「彼がほかの人を助けた」

「並列」型における動詞は基本的に自他同形型と逆使役型の相違を上段落で述べたが、1つの例外がある。調査結果が示すように、「中断 zhongduan(中断する)」という動詞は、北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)、広東語と閩語(閩南語)において、自他同形型であり、普通語、北方方言(承德市)と客家語においては逆使役型である。しかし、湘語(長沙語)において、「中断 zhongduan(中断する)」は補充型である。以下に湘語(長沙語)の例を示す。

(28) a. mozi gaoduan da

何が 中断する PFV

「何が中断された」

b. ta ba hui zanting da

彼が BA 会議 中断する PFV

「彼が会議を中断した」

(28b)のような「把 ba」構文は湘語(長沙語)の特徴で、使役標識ではない。中国語における「把 ba」は処置を表す介詞である。「把 ba」をつけることによって、本来動詞の後ろに来る目的語を前置させる。(28b)をS~O型に書き換えると、以下の(29)が示すようになる。

(29) ta zanting da hui

彼が 中断する PFV 会議

「彼が会議を中断した」

したがって、湘語(長沙語)において、「中断 zhongduan(中断する)」は補充型だと判断できると考える。

4.2.6 広東語における自動詞欠落型のタイプ

4.2.2 の最後の段落に、広東語の動詞対のうち、20, 21, 24, 25, 27, 40, 41, 42, 43 は厳密には自動詞欠落型と考えられると述べた。以下に普通語を示す(自動詞/他動詞)。普通語では、20, 21, 24, 25, 27 が逆使役型で、40, 41, 42, 43 自他同形型である。

20. bei 揺醒 yaoxing/揺醒 yaoxing (揺り起こす) 21. bei 射死 shesi/射死 shesi (撃つー死ぬ) 25. bei 吵醒 chaoxing/吵醒 chaoxing (騒ぐー起きる) 27. bei 喝干 hegan/喝干 hegan (飲むー乾く) 40. 连接 lianjie (繋がる/繋げる) 41. 集合 jihe (集合する) 42. 溶解 rongjie(melt) (溶ける/溶かす) 43. 升起 shengqi (上がる/上がる)

では、上述の動詞対はほかの方言において広東語とどこが異なっているか。各方言のデータの比較を以下に示す(自動詞/他動詞)

広東語:

20. jiang ... yusen/yusen, 21. jiang ... sesei/sesei, 24. jiang ... pauwai/pauwai, 25. jiang ... cousen/cousen, 27. jiang ... yingon/yingon, 40. jiang ... rinsyo, 41. jiang ... zahau/zahau, 42. jiang ... rongai/rongai, 43. jiang ... senhei/senhei

北方方言(承德市):

20. bei yaoxing/yaoxing (A), 21. bei shesi/shesi (A), 24. bei paohuai/paohuai (A), 25. bei chaoxing/chaoxing (A), 27. bei hegan/hegan (A), 40. bei lianjie/lianjie (A), 41. jihe (L), 42. bei rongjie/rongjie (A), 43. bei shengqi/shengqi (A)

北方方言(山東省済寧市):

20. yaoxing (L), 21. shesi (L), 24. paohuai (L), 25. chaoxing (L), 27. hegan jing/hegan (A), 40.

lianjie (L), 41. jihe (L), 42. rong/rongjie (C), 43. shengqi (L)

呉語(上海語):

20. yaoxin (L), 21. dangse (L), 24. bowa/ba. . . bowa (C), 25. coxin (L), 27. hegu (L), 40.

lijieshang/lijie (A), 41. jiejie (L), 42. longga (L), 43. sangqi (L)

湘語(長沙語):

20. shen yaoxinglai/yaoxing (A), 21. shen shesi/shesi (A), 24. paolan (L), 25. shen

chaoxing/chaoxing (A), 27. shen hegan/hegan (A), 40. lianqi (L), 41. jihe/ba. . . hanyiqi (S), 42.

rong (L), 43. shengqilai (L)

客家語(広東):

20. bun yaoqiang/yaoqiang (A), 21. shasi/shaxiao (E), 24. fai/zoufai(C), 25. bun

chouqiang/chouqiang (A), 27. bun yimliao/yimliao (A), 40. bunjia/lianjia (E), 41. bun

jizun/jizun (A), 42. rong (L), 43. shing<teo>qi/shingqi (A)

閩語(閩南語):

20. youqi (L), 21. xiayi (L), 24. zaopai (L), 25. caqi (L), 27. limda (L), 40. lianjia (L), 41. jiehou

(L), 42. longgai (L), 43. xingki (L)

データから見ると、広東語における自動詞欠落型の動詞対は北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)と閩語(閩南語)において、自他同形型が多い。それに対して、北方方言(承德市)と客家語において、逆使役型が多数である。湘語(長沙語)においては、逆使役型と自他同形型が同じ数を占める。しかし、1つの動詞対は、同じく「他動詞+アルファ」という形式で自他交替を起こすが、逆使役型と自動詞欠落型両方に対応する場合がある。たとえば、広東語、北方方言(承德市)、北方方言(山東省済寧市)、湘語(長沙語)と客家語において、一見、27. 喝干 hegan (飲むー乾く)はすべて「他動詞+アルファ」の形式だが、実は同じではない。

広東語:

- (30) a. jiang mieye yingon zuo
JIANG 何 飲むー乾く PFV
「何を飲まれて、切った」
- b. ju yingon zuo jiu
彼が 飲むー乾く PFV 酒
「彼がお酒を飲み切った」

北方方言(承德市)、湘語(長沙語)と客家語では受身標識をつけて逆使役型の自他交替を起こす。以下に客家語の例だけを示す。

客家語:

- (31) a. magai bun yimliao hoi
何 PASS 飲むー乾く PFV
「何を飲まれて、切った」
- b. gi yimliao hoi jiu
彼が 飲むー乾く PFV 酒
「彼がお酒を飲み切った」

例(31a)が示すように、北方方言(承德市)、湘語(長沙語)と客家語において、喝干 hegan (飲むー乾く)の前に受身標識「被 bei」またはそれに相当する要素をつけて逆使役型の自他交替を起こす。この場合は、目的語が主語になり、主語が降格している。しかし、例(30a)が示すように、広東語で「将 jiang」をつけた場合、目的語が動詞の前に来るが、主語は主語のままで文頭に出現することができる。

自動詞から他動詞を作るまたは他動詞から自動詞を作るという派生の方向性に着目した自他動詞対の分類が使役型と逆使役型である。何が基盤になっているかという点に着目すると使役型は自動詞基盤型で逆使役は他動詞基盤型である。広東語のいくつかの動詞のように他動詞から自動詞を派生できないものは厳密にいうと自動詞欠落型であり、他動性交替がない点で逆使役型と対立する。しかし、他動詞基盤型は他動詞が無標である点では逆使役型と共通している。この共通性から本稿では他動詞基盤型を逆使役型に含めて他の方言との対照を行った。

5. まとめ

本論文では、Haspelmath(1993)の他動性交替の5分類を参考し、中国語における他動性交替の地域差の有無について考察した。

まず、本論文では、地域差の有無を検証するために、中国の七大方言(贛語を除く)に対して調査を行った。調査を通じて、中国語における他動性交替の地域差があることが明らかになった。調査結果から見ると、自他同形型が優勢である方言が多い、北方方言(山東省済寧市)、呉語(上海語)、広東語、閩語(閩南語)、湘語(長沙語)がそのタイプである。北方方言(承德市)は逆使役型が優勢である。(広東)客家語は逆使役型と自他同型型ともに優勢である。また、沿海地域の方言ほど自他同形型が優勢であるという地理的傾向が見られる。

次に、本論文では、中国語(普通語)における他動性交替の形式に関する先行研究を整理した。また、各方言の調査結果と普通語の比較、方言と方言の比較を行った上で相違を示した。単音節動詞のほうは普通語との差が小さいことが分かる。それに対して、二音節のほうは、差がより明確に見られる。

最後に、本論文で取り上げることのできなかった問題に触れておきたい。本論文では、中国語における他動性交替の地域差が生じる原因については言及することができなかった。また、差が出る複合動詞について、規則性を探す必要があると考えている。今後の課題としたい。

参考文献

- Cheng, Lisa L.-S. (1989) Transitivity alternation in Mandarin Chinese. *Proceedings of the 3rd Ohio University Conference on Chinese Linguistics*. 81-94. Columbus, Ohio.
- 崔玉花(2008)「日本語と中国語における使役起動交替--中国語の単音節動詞の場合を中心に」『日本語と日本文学』. 筑波大学日本語日本文学会編. 47. 57-69.
- Dowty, David (1979) *Word Meaning and Montague Grammar*. Dordrecht: Kluwer Academic Publishers Press.
- Haspelmath, Martin (1993) More on the typology of inchoative/causative verb alternations. In: Bernard Comrie and Maria Polinsky (eds.), *Causatives and Transitivity*. 87-120. Amsterdam: John Benjamins Publishing Company.
- 黄伯荣(1996)『漢語方言語法類編』青島出版社.

- 黄正德(1990)「中文的两种及物动词和两种不及物动词」『第二届世界华语语文教学研讨会论文集—理论与分析篇(上册)』. 41-59. 台北:世界华文出版社.
- 李小凡(1998)『蘇州方言語法研究』北京大学出版社.
- 木村英樹(2000)「中国語ヴォイスの構造化とカテゴリ化」『中国語学』 247: 19-39.
- 望月圭子(2003)「日本語と中国語の使役起動交替」『松田徳一郎教授追悼論文集』国松昭, 湯本昭南, 馬場彰, 東信行, 高橋作太郎編. 236-260. 研究社出版.
- 望月圭子・申亜敏(2011)「日本語と中国語の複合動詞の語形成」『汉日语言对比研究论丛第二辑』2卷. 漢日对比言語学研究(協作)会, 46-72. 北京大学出版社.
- 申亜敏(2009)「中国語結果複合動詞の意味と構造: 日本語の複合動詞・英語の結果構文との対照及び類型的視点から」東京外国語大学・大学院総合国際学研究科, 博士論文.
- 佐々木冠・當山奈那(2015)「日本語族における他動性交替の地域差」『有対動詞の通言語的研究: 日本語と諸言語の対照から見えてくるもの』パルデシ プラシヤント, 桐生和幸, ナロックハイコ編. 59-73. くろしお出版.
- 湯廷池(1989)「詞法與句法的相關性: 漢、英、日三種語言複合動詞的對比分析」『漢語詞法句法續集』. 147-211. 台灣學生書局.
- Vendler, Zeno (1967) *Linguistics in Philosophy*, Ithaca: Cornell University Press.
- 「Maps China 中国語の地図」
<https://ja.maps-china-cn.com/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E8%AA%9E%E3%81%AE%E5%9C%B0%E5%9B%B3> (2019年6月12日閲覧).
- Shen, Li (2014)「使役交替言語地図 北京語使役交替対リスト」
watp.ninjal.ac.jp/jp/downloads/Mandarin/ (2018年12月8日閲覧).
- 澤田浩子・中川正之(2004)「中国語における語順と主題化」『主語の対照』益岡隆志編. 19-42, くろしお出版社.
- 詹伯慧(1981)『現代漢語方言』湖北人民出版社.

謝辞

本研究を進めるに当たり、指導教員の佐々木冠教授と副指導教員の滝沢直宏教授からは多大な助言を賜った。厚く感謝を申し上げます。また各方言のデータをご教示くださった方々にも感謝の意を表したい。セミナーの同窓生各位にも心より感謝し、厚く御礼を申し上げます次第である。

付録

方言使用に関する質問項目

七大方言	例文	方言訳	調査項目
北方方言 (官話方言) (北京語)	我 把 他 自行车 砸 了 wo ba ta zixingche <u>za</u> le 私は彼の自転車を打ち壊した	我 把 他 自行车 砸巴 了 wo ba ta zixingche <u>zaba</u> le	動詞の貶し用法
	挤 眼睛 <u>ji</u> yanjing ウインクをする	挤咕 眼睛 <u>jiqu</u> yanjing	動詞の接尾 様態を表す
広東語	a 不 怎么 好 bu <u>zenme</u> hao 良くない	唔 系 几 好 wu xi <u>ji</u> hao	程度副詞
	b 我 明天 一定 来 wo mingtian <u>yiding</u> lai 私は明日必ず来る	我 天日 梗 来 wo tianri <u>geng</u> lai	語気副詞
呉語(上海語)	a 站 着 比 坐 着 舒服 zhan <u>zhe</u> bi zuo <u>zhe</u> shufu 立つのは座るより気持ちがいい	站 嘞海 比 坐 嘞海 舒服 zhan <u>lehai</u> bi zuo <u>lehai</u> shufu	完成持続体
	b 我 赔 你 一 本 书 wo pei <u>ni</u> yi ben shu 私はあなたに本を弁償する	我 赔 依 一 本 书 wo pei <u>nong</u> yi ben shu	二人称
贛語(南昌語)	a 坐 着 吃 比 站 着 吃 好 zuo <u>zhe</u> chi bi zhan <u>zhe</u> chi hao 立ち食べるのは座り食べるよりいい	坐 到 吃 比 站 到 吃 好 zuo <u>dao</u> chi bi zhan <u>dao</u> chi hao	進行体
	b 书 放 在 这 里 shu fang zai <u>zhe li</u> 本はここに置いてある	书 放 在 这 哈 个 shu fang zai <u>zhe ha ge</u>	指示詞
湘語(長沙語)	a 把 这 本 书 借 给 我 看看	借 咯 本 书 我 看 下 看	間接目的語が直接目的語の前に

	ba zhe ben shu jie gei wo kankan この本を借りて見ていいか	jie ge ben shu wo kan xia kan	来る
	b 好好地 睡 了 一 觉 <u>haohaode</u> shui le yi jiao よく寝ていた	睡 夹 一 觉 好 的 shui <u>jia</u> yi jiao <u>hao de</u>	連用修飾語が後ろに来る
閩語（閩南語）	a 我 告 诉 你 wo <u>gaosu ni</u> 私はあなたを教える	我 共 汝 讲 wo gong <u>ru jiang</u>	目的語が前に来る
	b 我 病 好 了, 能 走路 wo bing hao le, <u>neng</u> zoulu 私は病気が治って、歩ける	我 病 好 了, 会 行路 wo bing hao le, <u>hui</u> xinglu	「会」は「できる」を表す
客家語	a 大 家 <u>da jia</u> みんな	尽 兜 <u>jin dou</u>	人称
	b 再 看 一 次 电影 <u>zai</u> kan yi ci dianying もう一度映画を見る	看 一 摆 电影 添 kan yi bai dianying <u>tian</u>	再次体